



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

紀元前701年に、エルサレムは、アッシリアのセナケリブ王の軍隊に包囲される。バビロン捕囚の100年以上前、ヒゼキヤ王の時代に、預言者イザヤのいた時代に、エルサレムの都は最大の危機を迎えるのだ。アッシリア王によって派遣された策士ラブシャケは、エルサレムの城壁の外から大声で叫ぶ。「ヒゼキヤにだまされるな。彼はお前たちをわたしの手から救い出すことはできない。ヒゼキヤはお前たちに主が必ず我々を救い出してください。決してこの都がアッシリアの王の手に渡されることはない、と言って、主に依り頼ませようとするが、そうさせてはならない。」(18:29-30)と。

しかし、このことを聞いた預言者イザヤは、ヒゼキヤ王に告げる。「主なる神はこう言われる。あなたは、アッシリアの王の従者たちが私を冒瀆する言葉を聞いても、恐れてはならない。」(19:5)と。王は、神殿の前に進み、主なる神の前で「主よ、耳を傾け聞いてください。主よ、目を開いて

瞑想

主よ、耳を傾けて聞いてください。
主よ、目を開いてご覧ください。

王下19:16

主幹牧師 榎本 恵

するものだ」、「なんといいても、この世の力には逆らえない」。そんな言葉が、私たちの心をよぎり、私たちの心の内は、エルサレムの民のように動揺する。かつてアシュラム運動の創設者、スタンレー・ジョーンズ博士は、ソビエトでの伝道旅行の経験について次のように書いている。列車の中で同席したロシアの女優に「あなたが宗教を信じているのはあなたが弱いからです。あなたは神に手を握ってもらい、慰めてもらいたいのでしょ。」と言われ、博士は、そうではなく「神が私の手を握ってください。私を助けてあげることができるようにと願って

ます。」と答えた。すると彼女は「あなたは理想主義者と思いますが、私は現実主義者なのよ。」と言って下車していったのだという(震われない御国と変わらない人格より)。彼女にとっては、キリスト教など理想主義者の戯言にすぎず、自分たちが確かな存在なのだと言いたかったのだ。「なぜ、そんな頼りにならぬものを頼りにするのか」、「あなたは現実を知らない、理想主義者に過ぎない」。そんなキリスト者にとって、聞きたくない言葉、聞かせたくない言葉が、今この世には溢れかえっている。しかし、その聞きたくない、聞かせたくない言葉を、主は耳を傾け聞き、目を開いてご覧になるのだ。

友よ、私たちのすぐそばで叫ぶ、ラブシャケの声が聞こえる。神を冒瀆する言葉が聞こえてくる。しかし、それでも、主はそれを聞き、見ておられるのだ。恐れることはない。イザヤの言葉が必ず響いてくる。

池谷治朗兄を訪ねて ①

6月27日 恵師・康子・鈴木兄(静岡聖書教室の友)がお世話下さる

証し

(癌の痛みの中で、
主と家族、祈りの友の
愛に感謝)

イエス様は、人間だから十字架のその痛み苦しきはわかっていたかもしれない。すごい壮絶な痛みだということが予言ではきつとわかってるんですよ。十字架につけられたことは本当に苦しみであつたとよくわかるんですよ。だから「我が父よ、私をお見捨てになつたのですか。」と本当に言いたくなる気持ちもすごいわかる気がする。わかつていながら痛みというのは壮絶ですよ。

てる子さんもそうだったかもしれない。保郎先生も飛行機の中で吐血をされて大変な

思いをしてもそれでもその主について行かれた、それが証しになつて私に今生きていますですよ。勇気をもらつてどんなに辛くても大変でも、主は必ず見捨てない。本当にそれをすごく思う。痛むときは叫ぶんですよ。苦しいよ。痛いですよ。でも何もしてくれないんだけどね(笑)。でも主がいてくれることは勇気ももらえて、またみんなが祈ってくれることが私にはすごく大事で、安心できる。だから本当に主の十字架は素晴らし

い。私たちは死んでも生きる



光輝き、生き生きと、
堰を切ったように語られた池谷兄。

という望みが与えられているから、ただ帰るだけなんですよね。だから今までは死というのが怖かったけど、今は死が怖くなくて、元に戻るだけなんですよ。私たちは、元居たところに戻って、ここではないいろんな学びがあったり、いろんなことを訓練させられて、そこに帰るだけだからきつとみんなに会えるから、死んでも生きてるから、保郎先生だって生きてるしそれを繋いでいるアシラムセンターに

すごい働きがあると私は思う。本当にここで聖書教室をやりたいたいという思いがある。聖書のみことばに触れて、いつも神が語ってくれているのは、「恐るな、私があるあなたを贖ったのだ」という文句しかないです。だから恐れなくて済む。すごい主の平安があるなっていうことに私を感じて、それはやはり保郎先生が私の元になつていて、どんなに大変な時でも主を仰ぎ見て、吐血して苦しんでる中でも、途中で降りようとしてもアメリカまで行くって、あの時は壮絶で死にそうな思いをしたと思うんだけど、それでもアメリカに到達すればなんとかなるんじゃないかという思いできつといたんだらうなど。

私の中にはそのことが生きています。だから保郎先生が残してくれたものが今私の励みなんです。そこにアシラムセンターがあつて、恵先生たちが来てくれる。本当に私の中ではもう十分なんです。すごい働きなんです。主の愛っていうのはものすごく偉大で、人が何かするんではなくて、させてくださるものを受け止める。きつと恵先生も今日は神様から受け取つて、(治朗の所に)来なさいと言われたことを実行しているんです。

神様から受けている指令、メッセージ、それを受け取つて実行していく、それが大事だよと絶えず神様は言ってくださっているんですよ。

(早天祈祷会、今は電話にて聴いて下さり、祈りを共に。)
(美しい足の会)(8月25日)
は池谷兄の祈りにより生まれることに！)

新潟一日アシラムの開催

吉澤 昭男

6月5日(土)に新潟一日アシラムが2年ぶりに開催されました。

昨年是一年アシラム、一泊アシラムが中止となりましたが、今年は3月のミニアシラムに



続き、一日アシラムを開催でき、感謝しております。

主題聖句は「御子は見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれたお方です。」(コロサイ1章5節)、奉仕者としてアシラムセンターから榎本恵主幹牧師を迎えることが出来ました。今回は北陸自動車道をお出でになり、榎本光太兄も一緒でした。本来であれば、国際正義平和アシラムの備えの時でもありました

が、コロナ禍のため、ホテルでは外国人の受け入れはできない、とのこと。2年後に延期されることになりました。ミニアシラムの時も、アシラムのメンバーが待ちに待ったかのように集まってくれ

ましたが、今回も予想(?)以上に皆さんが集まり、33名の集会となりました。日キ教団新潟教会が場所を提供して下さったことも感謝

でした。マスク着用(写真撮影の時ははずしました)、手指消毒、検温、ソーシャルディスタンスに留意しました。

新しい方、久しぶりの方、いつも出席される方もいろいろですが、恵みを知っておられる方が、主の恵みを求めて出席されたのだと思います。

久しぶりに榎本牧師のメッセージに傾聴し、2回の静聴は、コロサイ1章と2章、パウロが獄中で書かれた栄光と恵みに満ち満ちておられる「御子の姿」を黙想しました。恵みの分かち合いは6組のファミリ―に分かれ、それぞれの祈りの課題が共有されました。今

後1年間、レビの時が守られ、レビの時を通しての祈りの輪が祝福され、信仰の成長につ

第45回教職アシラムを終えて

加々美 要

イエスは主なり!

6月14、16日の教職アシラムは、当初予定していた会場が新型コロナウイルスの感染拡大防止のため使えなくなり、急遽私たちの教会で行うことになりました。私たちの教会は団地の集会所を拝借して礼拝や祈禱会を行っており、アシラムのため3日間使用の許可をいただきました。参加者は主が選び送り出された7名でした。

主題聖句はヘブル書7章24節から「とこしえの大祭司」が備えられました。この主題は昨年8月天に帰られた

ながることを期待するものです。(新潟アシラム 事務局)

村瀬俊夫先生の著書「ヘブル書講解」から引用させていただきました。

ヨハネの福音書14、17章を4回にわたり静聴しました。開心の時から静聴と恵みの時が進み、同労者の共通の課題や祈りの必要を覚えることが出来ました。早天祈禱会では、会堂建設の証しを中心に十字架を負って主に従うことが証しされ、2回目はエリヤの生涯からバアルの預言者との対決と大勝利、その後の逃亡劇から主の細いみ声を聴き、励まされて再び立ちあがるお話があり、参加者が大い



に恵まれ励まされたことでした。中日の奨励の時も主題にそって大祭司である主イエス・キリストが語られ信仰を深められました。

今回は、宿泊は近くのビジネスホテルにお世話になり、昼食と夕食は感染防止のため近くに出かけて食事を取りました。中日の昼食

後は隣町の遠山記念館を見学する機会を与えられ楽しみました。いつもの会場にはない恵みを味わうアシユラムとなりました。お祈りを感謝します。(桶川聖書教会牧師・教職アシユラム 実行委員長)

オンライン大阪聖書教室に吹いた風



貝出 久美子
Zoomを立ち上げ、「参加」を押すと、パソコンの四角い画面の中がまたいくつか仕切られて、そこから笑顔が見える。こうして顔と顔を合わせてみ

に心が近く感じられるんだらうと、アシユラムに参加するたびに思った。そして、それはオンラインでも同じだった。そこにアシユラムと同じ風が吹いている。それはとても温かい。「主がご入用です」

の霧が消えた。教会の仕事も家庭や職場の仕事も、「主がご入用」と言ってくださっているのだと示され喜びがあふれてきた。一人の方が「神様の会社に雇われている」と話された。「超ホワイト企業」と。与えられている仕事は神様に雇われている。なんと光栄なこと。疲れが飛んだ。解放された。オンラインでの姉妹のことは、主の語りかけとなった。わたしは主のご入用として生かされているのだ。



Zoom聖書教室、神の家族との大切なひととき。貝出姉は左上。

ことばに共に聴くとき、こんなに遠く離れてそれぞれが自宅でいるのに、聖霊の風が吹いてくる。教会も違うし、それぞれの背景や信仰歴もよく知らない。けれど、イエス様に呼び出され、イエス様を信じて従いたいと願っている者同士は、どうしてこんな

書とつないで説明してくれる。恵教師は上から話すのではなく同じ位置に立って、受け入れて下さるので、この風の中で自由に話すことができ、気づきが深まる。教会のことや仕事のことでモヤモヤしていたわたしの心

(徳島聖書)

キリスト教会

シメオン黙想の家 完成感謝メッセージ
ヤシキ・ディミティス(シメオンの賛歌) 時を備えて下さった主に感謝し 尊い名を崇めます。 吉田隆久・すみえ(札幌)

主幹牧師の2020年度の振り返りと2021年ビジョン(4)

2021年度のビジョン

1) 今年度のアシュラム集会について

現在、アシュラムセンターの主催するアシュラムは、この「年頭アシュラム」、「阪神アシュラム」、「阪神1日アシュラム」、「福岡1日アシュラム」、「四国1日アシュラム」、「日光オーブの里アシュラム」です。また、昨年度は、新たに静岡でのアシュラムをセンター主催で行う予定でした。しかし、前述しましたように年頭、福岡1日、オーブの里以外は全て中止となってしまいました。今年度に関しても、コロナの感染は、ワクチン接種をもって解決するというのは、少し甘い見通しのように思われます。おそらく今年度もまた、集会、特に会食や宿泊を伴うものについては、厳しいものとなることでしょう。そういう意味では、今年の後半からは、元に戻るだろうなどと、安易なことを言うわけにはいきません。しかし、そうであればあるほど、祈りが必要なのです。熱心な祈り。これこそが今必要なのです。諦めることは簡単です。仕方がないと言うことは、誰もが納得することでしょう。しかし私たちは、早々と白旗を上げるのではなく、主は必ず成し遂げられることを信じ、希望を失わず祈りましょう。同時に、今回の年頭アシュラムで試みましたが、インターネットを用いて、また、それぞれの工夫をもってアシュラム集会を行いたいと願っております。どうか、10人の乙女のように、ランプの火を灯し続け、そこに油を注ぐことを怠らないようにしましょうではありませんか。

2) 修道場アシュラム再開について

私が、アシュラムセンターの主幹牧師として、この地に帰ってきてから、14年が経とうとしております。その間一貫して、祈り続けておりました

のは、「新修道場計画」でありました。毎年毎年のビジョンの中でも、祈りの課題として、あげておりましたので、皆様方も、今回の思いがけない「シメオン黙想の家」の購入には大変驚かれたことでありましょう。神様は不思議を持って私たちに語られることを、そして同時に、本当に多くの方々が尊い献金をお捧げくださり、この神様の御業を共に喜んでいただいていることを、ひしひしと感じております。しかし、ことはこれでめでたしめでたしと終わったわけではありません。この場所を用いて、私たちが何を行うのか、そのことが最も大切なことでもあります。計画では、4月より、月に一度、2泊3日の「修道場アシュラム」を行ってまいります。記念すべき第1回は4月15日(木)~17日(土)。定員は10名。会場はアシュラムセンター、アンナ祈りの家、シメオン黙想の家を用いて行います。以降、毎月第3木曜から土曜(行事によって変更あり)を、「修道場アシュラム」といたします。もちろんコロナの影響がいつまで続くかわかりませんが、祈り、主のみ声を聴きながら行いたいと思います。どうか皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは、アシュラム誌にて記します。(続く)



7月修道場アシュラム、始まる前のひととき
(シメオン黙想の家応接間)
4月はトイレ改修のため中止。5、6、7月は開催でき感謝です!!

を覚え、祈っております。(恵)

このアシュラム誌が届く頃には、一体どんな風景が私たちに示されているのか。皆様の事を覚えています。

熱海土石流の被災地の皆様を、心から哀悼を表するとともに1日も早い復旧を祈ります。同時にコロナ禍の中、オリピックの強行開催に踏み切った私たちに、国の為政者たちに、どうか神の声に聞き従う事を祈ります。

神は、あらゆるものの境界をお決めにされました。しかし、私たちが人間だけが、欲望にまかせ、それを超え地球を破壊しています。今日の前に広がる温暖化も、疫病の蔓延も、神からの警告であると思わなければなりません。今一度、私たちは創造主のもとに立ち返らなければなりません。その事を強く思わされる、今年の夏です。

あ と が き

本当に主のなさる事は不思議!
主のなして下さった業の
主のみに信頼して歩むアシュラムセンターに
そして愛の高さ、深さ、広さを思わされました。主に栄光!!

脇 萬里子(愛媛)



ひまわりはいつも太陽を見てるやろ
一緒にやろ
わたしらも
いつも神様の方、向いていこうな。

後宮松代91歳(滋賀・保郎師の妹)

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。
直前の変更の場合あり！

8月の聖書教室など		【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
3(火)	ZOOM聖書教室 (ZOOM AM10:30、PM7:30)	
14(土)	聖書と学ぶ会 (ZOOM PM8:00)	
15(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00)	
16(月)	箴言に学ぶ会 (ZOOM PM10:30、PM7:30)	
18(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)	
25(水)	美しい足の会 (ZOOM PM10:30、PM7:30)	New!!

8月のアシュラムなど		
12(木)	関西青年アシュラム	0722-50-5224
14(土)	奉仕者 溝口 勝幸師	小林牧人兄
19(木)	常任運営委員のための修道場アシュラム	0748-33-4030
21(土)	奉仕者 榎本 恵師	アシュラムセンター

9月のアシュラム予定		
16(木)	修道場アシュラム④	0748-33-4030 アシュラムセンター
18(土)	(アンナ祈りの家、シメオン黙想の家) 奉仕者 榎本 恵師	

10月以降のアシュラム予定	
10月19(火)	第25回 埼玉1日アシュラム
10月21(木)～23(土)	加太アシュラム
10月21(木)～23(土)	修道場アシュラム⑤
10月28(木)～29(金)	日光オリーブの里アシュラム

黒見妙子姉 (町田・ちいろば祈りの家)

7月22日、大切な信仰の友、皆様方の祈りの中で、ご家族とも心あわせられ、安心して主のみもとに召されました。感謝いたします。これからもずっと共に！



2017常任運営委員会に泊まりがけでご出席。Wハウスでティータイム。

➡皆様、暑さにお気を付けて！
和子母



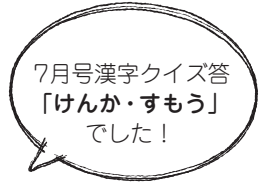
大鉢姉(カフェちいろば聖書入門講座の友)が、ご夫妻で。夕礼拝に来られた和田兄、平和兄も。



ラビリンスイよいよ最終！

みことば

ノースカロライナ大学生
ZOOM聖書と学ぶ会
榎本 空



(満月を見ている筆者6才画)

この命は現れました。御父と共にあったが、私たちに現れたこの永遠の命を、私たちは見て、あなたがたに証しし、告げ知らせるのです。
(ヨハネの手紙一1章2節)

毎月第二土曜の夜に開催されている聖書と学ぶ会で、私は分かち合いの時を、このみことば欄に掲載している文章を読み上げることから始めている。7月の集会でも文章を読んだのだが、そのあと対話が続いていく中で、ある方に、空さんの文章は難しい、と言われてハッとした。というのも、以前台湾にいた頃にお世話になっていた先生の言葉を思い出したからだ。曰く、神学者というのは村に住む詩人のようなもので、その人は新しい詩が書けると、それを村の皆に読んでもらう。もしそこで誰かが分からないとか、難しいとか言ったならば、詩人はその詩を捨てて、また書き直すという。そして、ようやく村の皆が、ああ、これなら分かると言ってくれるような詩ができたとき、その人は本物の詩人となるのだ。そんな言葉を思い出した時、私は自信を持って、あの文章を破り捨て、そしてまた何かを書いてみようと思った。私はいい書き手になりたいと思っている。同時に、難しいと言われてもらえるだけの信頼を、この集会がいつの間にか醸成していたことに、嬉しくなった。これこそ、神の業ではないか。ちなみに、このヨハネの言葉は、私には難しすぎた。
(次号につづく)